

令和6年1月9日（火）

# 魚沼きこえの教室だより

令和5年度 第8号

長岡聾学校小出分教室（小出特別支援学校内）

きこえの教室 担当：高橋 登

〒946-0035 魚沼市十日町 1738-2

TEL:025-792-5462 fax:025-792-5465

mail:takahashi.noboru@nein.ed.jp

小学校や中学校で学んでいる難聴児童生徒への理解と支援をありがとうございます。今月は補聴器と人工内耳の効果と限界についてです。まずは補聴器と人工内耳の違いについて説明したいと思います。

## 補聴器の仕組み

補聴器には、耳掛け型、耳穴型、骨伝導タイプなどがあります。補聴器のマイクで集められた音が、内部のアンプやレシーバーで増幅・加工されて外耳道→中耳→内耳へと届けられます。



耳掛け型補聴器

## 人工内耳の仕組み

人工内耳は音を集めて耳へ送る体外部分と電極などが埋め込まれている体内部分に分かれています。体内部分は手術によって埋め込みます。体外部分のマイクで集められた音が電気信号に変換され、電極を通して直接内耳に届けられるという仕組みです。



人工内耳（体外部分）

補聴器、人工内耳の仕組みには違いがあります。しかし、どちらも**補聴器や人工内耳を着ければ終わり、というわけではありません。**補聴器はその人の聴力に合わせた細かい調整が必要ですし、人工内耳は術後の定期的なリハビリとマッピング（電極の刺激量の微調整）が必要になります。

難聴の人は、補聴器や人工内耳を着けることでよく聞こえるようになりますが、そのために誤解されることもあります。実は、騒音下での会話や校内放送などの機械を通した音の聞き取りについては難しいのです。個人差はありますが、環境が変わると急に聞き返しが増えたり、話が通じなくなったりすることもあります。また、冬場は暖房器具から聞こえる音を不快に感じる人もいます。

そこで、右の配慮を各学校の実状に応じてお願いします。

### 雑音を極力抑えるための環境整備をお願いします！

- ① 授業中の発言は、一人ずつ行う。（複数の人が同時に話さないように）
- ② 椅子や机の脚にテニスボールなどを付ける。（騒音防止のために）
- ③ 座席の配慮（教室の前側、スピーカーの近く、暖房器具から離れた席）

## 身近にある難聴 ③ 「<sup>か</sup>れいせい<sup>なん</sup>ちよう（老人性難聴）」

認知症の危険因子の一つに「難聴」があげられています。耳が聞こえにくいということは、家族や隣人、友人などとコミュニケーションがとりにくい状態と考えられます。難聴であることによって、相手の話が聞き取りにくくなると、聞き間違えたり聞き返したりすることが多くなります。次第に会話が減り、家族や社会から孤立してしまうことが認知症を作りやすくしてしまうようです。

難聴の方に話しかけるときは「ゆっくり話す」「はっきりした発音」を心がけると良いと思います。また、補聴器の使用も有効です。新潟県は県内全市町村で補聴器購入助成制度（18歳以上）があります。

認知症対策サイト（原因と対策）より

※補聴器は「補聴器専門店」での購入をお勧めします！